

ふたかみ NEWS プチトマト

お買い上げ ありがとうございました

お天気が心配でしたが、無事開催することができました！
ご協力いただいた方々、ありがとうございました。



お買い上げ
いただきました☆



社会福祉法人ふたかみ福祉会

〒583-0841 大阪府羽曳野市駒ヶ谷 105 番地 1 TEL 072-959-3221 FAX 072-959-3264

Email: futakami@kagayaku-inochi.com <https://kagayaku-inochi.com/company/>

発行責任者: 石本悦二 編集責任者: 関口奈緒美



気候の良い10月・11月に、
3つの販売・お祭りに参加させていただきました♪



10月15日(日)は、羽曳野市作業所・施設
連絡協議会を通じてお声がけいただき、はびきの
コロセアムで行われた『羽曳野市健康まつ
り』に参加しました！

10月29日(日)は、ふれあい祭り実行委員
から参加させていただいた『駒ヶ谷ふれあい祭り』に参加しまし
た。はびきの園として1ブース任せていただき、クレーンゲーム
をしました★子どもたちの笑顔にたくさん出会えた一日でした。

11月5日(日)は、駒ヶ谷駅前にあるカフェ「Meet you」さん
にお声がけをいただき、『駒ヶ谷フェスタ』に参加しました！温
かい雰囲気の中で販売をさせていただきました♪

今年度に入り、対面での販売やお祭りに少
ずつ参加させていただいています。
お客様や地域の方々と直接お話出来る機会
に感謝し、今後も取り組んでいきたいと思
います。(田邊と)



❄️ 冬季限定！ ❄️

毎年ご好評をいただいています

『シュトーレン』

今年の冬も販売されます！
ドイツ発祥のケーキで、クリス
マスまでの間に少しずつ切り分
けて食べる伝統のお菓子です。
たっぷりのドライフルーツとレ
ーズン、バターの風味を楽しん
で召し上がってください。
たくさんのご注文お待ちしております
(^^)/



このまちで暮らしたい
「障害者生活耕房」(グループホーム)
ー建設基金のお願いー
2022年6月openしました！！
新しい暮らしを支える拠点として…
建設基金へのご協力を引き続きよろしくお願い致します。

◆郵便振替◆

【口座番号】00950-3-225417

【加入者名】社会福祉法人ふたかみ福祉会

◆銀行からゆうちょ振込◆

【金融機関コード】9900 【店番】099 【預金種目】当座

【店名】〇九九店(セロキュウキュウ店) 【口座番号】0225417

■後援会入会及び更新の方々(敬称略)

・山田恵
・小田百合子 高村文雄 高村幸子 井上悦子 熊野照司

2022年度

・井上悦子 以上1口

■ボランティア 垣内秀夫様 垣内享太様

■アルミ缶回収(10月分) 1358 kg

. 以上4口

. 以上1口

ありがとうございます。

◆2023年度ふたかみ福祉会後援会入会、更新のお願い◆

法人では新しくグループホーム2ヶ所をたちあげました
皆様の引き続き日中支援事業所や相談支援へのご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

【個人会費: 1口3,000円 団体会費: 1口10,000円】 郵便振替口座: 00940-5-325894

cafe ハピバール

12月の予定

定休日 毎週水曜/日曜

休み 9日(土)・23日(土)

2023年12月29日~2024年1月7日

★Instagram★

[cafe-hapibar.com](https://www.instagram.com/cafe-hapibar)



お問い合わせ先

072-958-3232

合同研修会

「発達のとらえ方」

10月14日(土)に、ふたかみ福祉会とピヨピヨ福祉会との合同研修会が開催され日本福祉大学名誉教授、近藤直子先生を迎え「発達の捉え方」というテーマで講演いただきました。「発達保障ってどういうこと？実践の“見かた”を考えてみよう」ということで、①発達するってどういうこと？②「問題なこと」「困ること」は障害のせいなのか？発達を保障する基盤とは③発達の流れを大きく理解する④ところが育つ方向性と大切なこと⑤すべての人に必要な生活の質とは⑥「日本国憲法」25条…健康で文化的な生活、以上4点が講演の大きな柱となっており、まずは「発達する」とはどういうことか？というところから、お話をいただきました。

近藤先生曰く「できることが増えることが発達だと思っている人が多いが、発達するから「しなくなること」「できなくなる」こともありマイナスになることもある。「できないからダメ」ではなく、その人のそ

のらしさを大切にして自分らしい自分、自分らしい心を作っていくことが大事」だと仰っていました。

次に、「問題な事」「困ること」は障害のせいなのか？というところでは、「医学モデルと社会モデル、そして人権モデルがあり大切なことは当事者がイキイキできて生きていることが楽しいと思える、その人が幸せを感じられる生活の保障と、生活や取り組みとの関係で何がしんどののかを考えること」だとも言われていました。その後、発達の流れを大きく理解するという話の中で、「大好きな人と関心を共感する関係が必要。あと自分がしたいことを選び実現出来たらすごい自信になる。好きなことができた、もしくは好きなものを持っている人は強く、前向きになれる。できないことに着目するのではなく持ち味と出来ることを活かして、自分で選んで自分で決めて自分らしい心を作っていくことの大切さを話されていました。ある事例として、担任の先生の発言が生徒たちの頭の中に刷り込まれ印象を

操作される例を挙げられていました。周りから見られる自分と自分から見た自分があり、周りとは違っていて、みんなが同じことをできなくて良い」というお話は、すごく印象的で自身の心の中に残りました。最後は「すべての人に必要な生活の質とは？」ということで「自分にとって良い加減を知る。自分のことを知ることが大切。アカン自分も大事にしてくれて安心して依存でき「助けて」と言える関係が重要。そして、その人の好きな事、得意な事、幸せな時を、みんなで考えよう。今は弱い者に対しての虐待やいじめが後を絶たず弱い立場の人達が守られていない状況の中で、自分の当たり前の生活を保障するには地域での横の連携やネットワーク作りも大切。家族にも仲間が必要である」とお聞きし、再度自身の支援を振り返り新たな気づきを感じる事ができました。今回の講演で得たことを今後の支援の礎にしていきたいと思えます。(大竹)

法人研修「人権と権利擁護について」

10月21日(土)に法人職員研修を行いました。講師に大阪健康福祉短期大学の鴻上圭太先生をお招きして前半の講義では障害者の人権と権利擁護をテーマにお話をいただきました。鴻上先生の実際に働いていた時の話を聞かせて頂きました。当時、重症心身障害児の施設で勤務を行い、自分なりの3原則「利用者をよく見て、丁寧に、自分に強く」をモットーに働いていました。とお話をいただきました。

当時働いていた時、夜勤の勤務が大変だったこと、余裕がない時に虐待につながる恐れがあることや、「利用者が幸せな環境はきつとみんなにとって幸せな環境である」と先生より話がありました。私自身の支援を振り返ると、支援に余裕がない時もあり、先生の話にとっても共感しました。余裕がない時はどういった時か、余裕を持つためにどうしたらいいのかを考え直すきっかけとなりました。

自由とは何かのテーマでは特別養護老人ホーム利用者(Aさん)事例として、Aさんの希望

は自宅で暮らしたい、しかし、家族の負担を考えた時に施設の利用を選んだ。施設利用時に介護職員がAさんに対して「入居おめでとうございます」と声をかけた。その声掛けが正しかったのか。Aさんの気持ちに寄り添った時に必要な声掛けはどういった声かけだったのか。相手の本当の想いを読み取りながら声掛けをする必要があることを改めて学ぶことができました。

後半はコミュニケーションの技法を用いながら、演習を交えた研修を行いました。1つ目はノンバーバルコミュニケーション(非言語的コミュニケーション)で相手に自分の嬉しかったことを伝える演習を行いました。言葉では簡単に伝えることが出来る内容でも、身振り手振りで伝えることはとても難しく、各自グループに分かれて様々な身振り手振りが見られました。2つ目の演習は、様々なシチュエーションの「はあ」を相手に伝える演習を行いました。「リラックスした『はあ』」を伝えたいつもりでも他人からは

「疲れている時の『はあ』」に聞こえたと言った意見をもらい、今後ほかの人に自分の思いを伝えたいときに相手はどう思うか、自分の言い方はきつい言い方になっていないかを再度気をつけて支援を行いたいと思いました。最後の演習では自分自身が想像している人物を相手に伝える演習を行いました。その人の特徴や経歴を話して相手に伝えるのが目的で、少しの情報で相手に誰なのか分かってもらうのはとても難しかったです。伝える時は相手のことを想像しながら伝えていけると楽しく演習を行うことが出来ました。

2時間ほどの研修で権利擁護やコミュニケーションの技法を学ぶことが出来ました。自分の言い方を改めて考えながら、なかまにどう伝わるのかを日々気を付けながら、自分の言い方が相手を不快にしないか頭の中で整理して話すことを意識したいと思えます。(波多江ひ)



10月26日に、ハロウィンパーティー催しました！
今年のパーティーは4年ぶりとなる「ハロウィン喫茶」を行い、菓子の仲間が仮装をした店員となりクッキーやケーキのおもてなしをしました♪

自治会のメンバーが主体的におこなった部屋の飾りつけは、クオリティが高く職員や仲間から「可愛い！」「飾り付けが上手！」との声があがっていました！

喫茶には、黒いマントを被ったり、仮装のカチューシャを付けたり、様々な仮装をした仲間が来店し、お菓子を美味しそうに食べて賑わうひとときを過ごすことが出来ました！(辰巳)

